

本校における新型コロナウイルス感染者の発生について（5例目・第2報）

令和3年10月26日
四国医療専門学校

令和3年10月22日（金）に、本校職員1名が、医療機関での検査の結果、新型コロナウイルス感染症の「陽性」と判定されました。

その後、当該職員は、入院して治療を受けておりましたが、回復したため退院し、現在は自宅療養中です。

接触者・濃厚接触者の9名につきましては、本日、PCR検査の結果、全員の「陰性」が確認されました。体調は良好で、現在、濃厚接触者の1名を除き、8名は職場復帰しております。

なお、感染者が立ち入った場所については、令和3年10月22日（金）に、消毒を実施するなどして感染拡大防止の対応を行っております。

今後につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、令和2年2月に設置している本校「新型コロナウイルス感染症対策本部」において、保健所の助言をいただきながら、対応してまいります。

これまで、本校職員に対しては、出勤時の検温及び手指消毒の励行をはじめ、3密にならないよう対策を講じており、また、本校ホームページでも常に情報発信し注意喚起を行っておりますが、より一層感染防止対策を強化し、更なる啓発にも努めてまいります。

※なお、今回、感染が判明した職員の一日も早い回復を願っております。

※感染した職員の人権尊重、個人情報保護にご理解とご配慮をお願いいたします。

以 上